

データ解析に関する運用規則・  
岩木健診データを用いた論文投稿時のFAQ  
改訂の主なポイント

---



## データ解析に関する運用規則

### 4.7 研究成果の外部発表に関する事前申告および報告

#### 4.7.1 研究成果の外部発表に関する事前申告

データ解析者がデータ解析により得られた研究成果の外部発表を行う場合は、原則として学会発表に関する演題登録（要旨や抄録など）および論文投稿の概ね 30 日以前にデータ管理委員会に書面で申告する。研究成果に発明が含まれる場合は、特許出願の可否について別途協議する必要がある。外部発表とは「学会発表」「論文投稿」「一般公開される外部資金の報告書（例 料研費）」「新聞等の取材」「プレス発表」等をさす。データ管理委員会は、書面の内容を確認の上、解析結果の利用、公表を許可するか否かを決定する。

#### 4.7.2 投稿論文公表後の報告

投稿論文について、事前に申告した内容が採択された場合は、著者名、DOI または論文 URL 等の必要情報を速やかに報告すること。

#### 要点

論文公表されましたら著者名、DOI または論文 URL 等の情報を改めてデータ管理委員会にご連絡ください。

## データ解析に関する運用規則

## 論文投稿時のFAQ

### 5 住民データの種類と取扱い

#### 5.1 岩木プロジェクト健診データ

- ・ 弘前大学及び青森県弘前市により 2005 年から実施されてきた岩木健康増進プロジェクトにおいて得られたデータであって、仮名化された住民に関するデータのことをいう。
- ・ 岩木プロジェクト健診データの利用申請区分は、共通データ（分類 1）、準共通データ（分類 2）、独自データ（分類 3）として取り扱う。
- ・ UMIN 登録は次の通りである。
  - 試験名：岩木健康増進プロジェクト プロジェクト健診
  - UMIN 試験 ID：UMIN000040459
  - 登録内容：2014 年以降の岩木プロジェクト健診のコア部分
- ・ 学会発表、論文作成を行う場合は、Acknowledgement（謝辞）に岩木健康増進プロジェクトによる研究成果であること、弘前大学 COI のグラント番号 JPMJCE1302 と加速支援のグラント番号 JPMJCA2201、弘前大学 COI-NEXT グラント番号 JPMJPF2210 を併記する。
- ・ また、2025 年度以降のデータを使用した研究成果の場合、ムーンショットのグラント番号 JPMJMS2021 も併せて記載する。

### Q5. 記載すべきグラント番号があれば教えてください。

A5. 岩木健診は 2013 年から JST（国立研究開発法人科学技術振興機構）の支援を受けて実施されており、データベース整備にも JST の資金が使われています。岩木健診のデータを用いて論文投稿を行う際には、利用されるデータの年度に関わらず、次のグラント番号を全て併記して下さるようお願いいたします。

期間	グラント番号	JST プログラム名
2013～2021 年度	JPMJCE1302	COI プログラム
2022 年度	JPMJCA2201	COI プログラム R4 年度加速支援
2022 年度～	JPMJPF2210	COI-NEXT プログラム

\*2025 年度以降のデータを使用した成果に関しては本グラント番号も併記ください。

2025 年度～ JPMJMS2021 ムーンショット型研究開発事業

### 🔦 要点

2025年度以降のデータを使用するときは

ムーンショット型研究開発事業のグラント番号：**JPMJMS2021**も追記